

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に偽陽性を呈した ヒトコロナウイルス NL63感染症



【概要】

COVID-19診断のゴールドスタンダードは、PCR検査による原因微生物であるSARS-CoV2の検出であるが、PCR検査は時に偽陽性・偽陰性となることがあるため、その結果解釈には注意を要する。

PCR偽陰性の問題は、感染対策・疾患蔓延を防ぐために注目されがちだが、PCR偽陽性にも大きな問題が潜んでいる。2重測定のうち1回のみ陽性である、N1またはN2のどちらか一方のみが陽性である、複数の標的領域に対するPCR検査で単一領域のみが陽性となる、Ct値が35以上と高い値が得られた、などというケースでは偽陽性を疑い、再検査をするなど慎重な判断をするべきである。

Otsuka Y, Hagiya H, Nakano Y, Omura D, Hasegawa K, Yamada H, Iio K, Honda T, Otsuka F.
A patient with human coronavirus NL63 falsely diagnosed with COVID-19; Lesson learned for the importance of definitive diagnosis.

J Infect Chemother. 2021 Jul;27(7):1126-1128. doi: 10.1016/j.jiac.2021.05.001.

